

平成30年 新年のごあいさつ

会 長 河 野 修 一 郎

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年中は、兵庫県剣道連盟の事業並びに運営に一方ならぬご理解ご協力をいただきありがとうございました。お陰様で、懸案でありました各種講習会の地区協議会への主管移行、個人会費・審査料の値上げなどスムーズに運ぶことができ、これから中間決算や実績報告等でその結果を検討していきます。

また、全国大会等では、昨年も小学生から一般まで幅広い年齢層、職種、部門で素晴らしい活躍がありました。昨年11月の兵庫県剣道優勝大会一般の部の開会式で顕彰させていただきましたとおりで。その中に、全国高等学校定時制通信制剣道大会で、兵庫県女子選抜A・Bチームが優勝・準優勝したという快挙がありました。日常の限られた時間のなかで活動を続けてこられた成果に敬意を表します。その他にも小学生など兵庫県剣道の次代を担う選手の活躍が多く大変心強く感じました。ご指導いただいた関係各位のご努力に重ねて感謝申し上げます。

現在次年度の事業計画を策定中ですが、全国大会の開催や新規事業などは今のところ予定がありません。事業・財政改革がスタートしましたので、平成29年度の結果を検討しながら、今後の事業の発展に活かせればと考えています。一層のご指導ご協力をお願いします。

新しい年が、会員の皆様に取りましてよい年でありますよう祈念し、あいさつとします。

3月の行事等のお知らせ

講 習 会

◆剣道八段受審者講習会◆

1. 日 時 平成30年 3月 4日(日) 12:30受付
13:00~17:00
2. 会 場 神戸市立王子スポーツセンター内 剣道場
神戸市灘区青谷町1-1-1
3. 参加資格 ①当連盟の会員であること(平成29年度会員登録済みのこと)
②教士七段(剣道八段を目指す方)
4. 講 師 県外講師:網代 忠宏 剣道範士八段
(全剣連 常任理事 普及委員会委員長)
県内講師:範士八段 5名(予定)
教士八段18名(予定)

5. 講習内容 (1) 審査員の着眼点 (剣道範士 網代 忠宏)
 (2) 合格者は語る (剣道教士 秋山 雅彦)
 (3) 模擬審査
 (4) 八段元立の地稽古
6. 参加料 一人につき 1,000円
7. 携帯品 剣道具、竹刀、剣道着、袴
8. 申込方法 講習会申込書に参加料を添えて申し込みください。
9. 申込期日 **平成30年 2月19日(月)必着**
10. 懇親会 今回も全講師と受講生合同の懇親会を開催します。
 参加希望者は講習会申込書の備考欄に「懇親会出席」と書いて下さい。
 会場:グリーンヒルホテル神戸 (当日ご案内します) 午後6時～の予定
 参加費:5000円 (研修会参加料と一緒にお願いします)
11. その他 参加者は50名程度を予定しています。予定を超える場合は申込順で締め切りますので、ご了承ください。

審 査 会 報 告

【杖 道】

[11月26日(日) 神戸市立王子スポーツセンター内 剣道場]

区 分	受審者 (名)	実技合格 (名)	学科不合格 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)	認定者 (名)
一 級	3	3	—	3	100.0	5
初 段	3	3	0	3	100.0	
二 段	2	2	0	2	100.0	
三 段	4	4	0	4	100.0	
四 段	2	2	0	2	100.0	
五 段	5	5	0	5	100.0	

【剣 道】

[12月16日(土) バイコム総合体育館(尼崎市記念公園)]

段 位	受審者 (名)	実技合格 (名)	形不合格 (名)	学科不合格 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
初 段	305	230	11	1	218	71.5
二 段	216	153	8	0	145	67.1
三 段	102	75	4	0	71	69.6

[12月23日(土祝) 神戸市立中央体育館] (神戸地区協議会主管)

級 位	受審者 (名)	実技合格 (名)	基本技不合格者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)	認定者 (名)
一 級	444	443	1	442	99.5	7

事務局からのお知らせ

明けておめでとうございます

* 12月10日開催の常務理事会において、昇段審査（初段～五段）における学科試験不合格者のことが問題となりました。学科試験の内容は、要項において、あらかじめ通知している4問の中から2問出題しています。剣道人として必須の常識を問題としておりますので、審査を受ける人は全員がわかっていなければならない内容です。不合格となることは大変恥ずかしいことですし、指導者の姿勢も問われます。今年の審査会ではこのような方が一人も無いようにお願いします。剣道において「事理一致」という教えがありますが、これは高段者だけでなく初心者の時からレベルにあった考えを持ち、昇段するごとに高めていかなければならないものなのです。ただ竹刀を振り回して当たればよいというものではありません。剣道が「道」であることを求めていくために必要なことなのではないでしょうか。

以上